

1. 基本情報

企業名・屋号・営業所	(株)下呂物産	所在地	岐阜県下呂市〇〇町〇〇	事業継続目標	衛生関連商品、レトルト食品の提供（3日以内に平常時の60%）
事業継続方針	従業員及び家族の人命を最優先とし、災害等の緊急事態の発生時においても商品の供給責任を果たす。			主な取引先	衛生関連商品：岩崎商店、長瀬商店 レトルト食品：落合食品、西村センター

2. ジギョケイ発動条件

当社所在地で発生しうる災害等リスクに「〇」を記入	<input type="radio"/>	地震	<input type="radio"/>	感染症	当社のジギョケイ発動条件	地震	震度5強以上を観測した場合	感染症	新型コロナウイルス等が国内まん延～感染拡大時
	<input type="radio"/>	大雨	<input type="radio"/>	火災		大雨	警戒レベル4「避難指示」	火災	当社の全部又は一部で火災が発生又は当社近隣で火災が発生し当社に延焼の可能性があるとき
	<input type="radio"/>	大雪		サイバー攻撃		大雪	特別警報の発令	サイバー攻撃	
		土砂災害（急傾斜OR土石流）		その他		土砂災害（急傾斜OR土石流）		その他	

3. ジギョケイ発動時の組織体制

従業員間の連絡方法	<input checked="" type="checkbox"/> メール	<input checked="" type="checkbox"/> SNS（LINE等でグループ作成）	<input checked="" type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> その他（ ）
<b>ジギョケイ担当</b>  <b>社長（司令塔）</b>  ○社長が対応できない場合に社長の代理として司令塔を担う方  ○複数選任する場合は、継承順位も記載  1. 羽根 2. 宮田 3. 森	①情報担当責任者	最新の災害及び被害に関する情報を収集するとともに社内外への情報発信を行う。	主担当：羽根	副担当：宮田
	②供給担当責任者	災害発生時・事業中断時における取引先や消費者に対する供給責任に関する対応を行う。	主担当：羽根	副担当：宮田
	③予算担当責任者	災害発生時に必要とされる予算の管理を行う。（設備復旧費用・資金繰り等）	主担当：森	副担当：小川
	④現場担当責任者	災害発生時における現場での事業継続目標をふまえた初動対応及び復旧対策について対応を行う。（非常招集、安全確認、安否確認、応急処置、救護・救助）部門（総務・製造ライン等）ごとに配置が必要な場合は複数名選任。	主担当：大垣内	副担当：川上
	⑤特命担当責任者	①～④の役割と責任の範囲外のことで、別途責任者を定める必要がある場合に、特命担当責任者を選任する。（例：法務等）	主担当：羽根	副担当：大島
就業時間外発災時参集メンバー	羽根、森、大垣内、宮田			
代替拠点	高山営業所 高山市久々野〇〇	社長宅		
避難場所	下呂市営パーキング			
避難所	下呂市民会館			

4. 発災時の出社・帰宅体制（休日含む）従業員の出社・帰宅体制の確認と、自社独自ルールを決定します

	原則（適用するものに☑）	自社独自ルール
出社・帰宅時間帯に発災	<input checked="" type="checkbox"/> （出社時）自宅待機又は自宅に戻る。職場に近い場合は職場へ	・就業時間外、発災時参集メンバー以外は原則自宅待機
	<input checked="" type="checkbox"/> （帰社時）職場内待機又は職場に戻る。自宅に近い場合は自宅へ	
	<input type="checkbox"/> 駅等にいる場合は、公共交通機関等の指示に従う。長時間行き場が無い場合は、避難所等へ避難する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場以外の場合は必ず会社へ連絡する	
就業時間外に発災（休日当）	<input type="checkbox"/> 自宅待機	・就業時間外、発災時参集メンバー以外は原則自宅待機
	<input checked="" type="checkbox"/> 身の安全を優先した上で「就業時間外発災時参集メンバーは出社」	

5. 減災の事前対策

備蓄物資	備蓄完了チェック	一人当たりの必要量			従業員数	備蓄量	保管場所
飲料水	<input type="radio"/>	1日3ℓ	×3日分＝	9ℓ	10	90ℓ	倉庫
食料	<input type="radio"/>	1日3食	×4日分＝	12食	10	120食	倉庫
簡易トイレ		1日5回分	×5日分＝	25回分	10	250回分	
ブルーシート	<input type="radio"/>						倉庫

5-2. 訓練・演習の実施

従業員や拠点間の連絡手段を用いた訓練、出社・帰宅に関する訓練、発災時を想定したシナリオに基づく演習に取り組む。従業員には自社のBCPの取り組みを教育（入社時、定期的な研修等）。

訓練・演習  
毎年  
5月

5-3. 保険共済への加入

火災保険・共済    地震特約    業務災害保険    ビジネス総合保険    生命保険

商工会の福祉共済    その他（ ）

6. ジギョケイ発動時から復旧に向けて

	担当	まず最初に取り組むこと	次に取り組む事	必要な事前対策
従業員の安全確認	①	安全確認を実施し負傷がないか確認	負傷者の救護、2次被害に備えて避難誘導	安否確認手段の確立、身体防護、救護用品、避難経路の確認
来訪者の安全確認	②	安全確認を実施し負傷がないか確認	負傷者の救護、3次被害に備えて避難誘導	身体防護、救護用品、避難経路の確認
被害状況の確認	①	社屋、敷地内設備の他隣接する建物なども含めて確認	設備管理会社、保守会社に連絡、応急処置	被害状況チェックシート作成 緊急連絡先一覧作成
取引先の被災状況の把握	②	被災地域内に委託先が含まれていないか確認	被災地域内の委託先に商品の供給について確認	代替調達先の確保 サプライチェーンマップ作成
早期復旧への取組	①	事業継続目標に関する経営資源への被害状況確認	事業継続目標達成を最優先とする復旧対応	事業継続目標の社内周知 経営資源の洗出